

**平成20年度 第2回『山武市都市計画マスタープラン』  
策定委員会における意見と対応について**

(意見の列の「」は委員会時、「」はその後の意見)

	意 見	対 応
<b>2 - 2 - (5)山武市 の都市づく りの課題</b>	p.11及びp.13の現況整理は、いきなり文章で書くのではなく、キーワードを載せる。 p.13、フローチャートなどで因果関係がわかるような整理をする。	資料2のP.42,43のとおり修正しました。
	マスタープランにもっと夢があっていい。	
	現状の課題と市の魅力や可能性を分けてわかりやすく書いた方がよい。	
	p.11、13 都市づくりへの影響「広域幹線道路や歩いて暮らせる街を目指し」 文章表現がしておかしい。	
	p.13 都市づくりの課題「自立した都市づくり」 周辺都市との連携か、市内拠点との連携かがわからない。	「実現化方策」に関する項目を設定する事を考えており、方法論に関する内容についてはその中で整理して示します。
	施策の中で、夢の部分と方策や方法論の部分に分けて整理した方がよい。 短期的な目標と長期的な目標を分けたらどうか。	
	市の現況、課題、魅力等についての地理情報(図化)、数値情報をバックデータとして整理する。	
	p.9 市内通勤通学者等の数のイメージを円の中に表示	
<b>3 - 1 将来の都市 像</b>	p.13 都市のイメージと方法論とを峻別すべきである。 p.13 都市のイメージは利便性が市のイメージか。住み続けられる都市でよいのでは。 p.13 都市のイメージは第一ブロックが総括ではないか。その他は補完だと思う。 第二ブロックは、キーワードとして「一体性」が必要だと思う。 p.13 都市のイメージに農林業がなくてよいか。	資料2のP.43のとおり、都市のイメージを「都市づくりの目標」として再整理しました。

	意見	対応
3 - 1 将来の都市像	<p>p.15 時代状況から「持続的に発展する」は無理があるのでは。</p> <p>「自立都市」と基本理念の「独立都市」との関係をどのように統一するのか。</p> <p>・・・「地域が連携した」持続・・・を入れてはどうか。</p> <p>1「自立都市」の解説が、「経済的自立」といっておきながら、後半では「・・・生き甲斐を持って暮らし続けることのできる」となっておりイメージが合わない。後半だけでも良いのでは。</p>	<p>資料2のP.43のとおり修正しました。</p>
	<p>人口維持、産業振興のために移住、交流人口を考えるなら、土地利用の布石としてそのことに触れておくべき。現に移り住んでいる人もいる日向の森やその他の地区の土地利用に反映されてくるのでは。</p>	<p>資料2のP.42,43のとおり修正しました。</p>
3 - 2 将来都市構造	<p>p.16 市の都市構造を規定する「交流拠点と地域交流ネットワーク」に落とし込むための布石がp.11からp.15、p.16前段で必要。「・・・望ましいと考えられる地域を「交流拠点」とし・・・」なぜ望ましいと考えられるのか。</p>	<p>資料2のP.42,43のとおり修正しました。</p>
	<p>p.17 「日向の森」は今後の検討を待つものとして、今決定しなくてもよいのでは。必要とする要素や方向性を示すだけで、可能性を残す。</p>	<p>資料2のP.45,47,52,55,65,69,75のとおり修正しました。</p>
	<p>p.17 山武成東IC周辺の産業交流拠点の位置づけはなくてよいのか。</p>	<p>資料2のP.52,55 山武成東IC周辺は積極的な開発整備を行うエリアでなく、民間企業の大規模な所有地があるため、開発計画に市の意向を反映させるため、計画的土地利用誘導地として位置づけています。</p>
	<p>市街地ゾーンと拠点の役割分担をどのように考えるのか。</p>	<p>拠点は地域コミュニティ施設、市街地、商業地及び公共交通施設が集積する一定のエリアをイメージしています。(資料2のP.52を参照)</p> <p>一方、市街地ゾーンは現状の市街地の維持・改善及び誘導するゾーンと考えます。</p>

	意見	対応
3 - 2 将来都市構造	p.19(3)都市連携軸と(4)地域交流ネットワークは順序が逆	P.47 「都市連携軸」は、産業集積のための条件となる広域交通アクセスと沿道土地利用を一体として位置づけた土地利用の概念です。一方、地域交流ネットワークは各拠点をつなげるシンボリックな交通体系の概念としています。 よって、土地利用、交通体系の順に構成しています。
3 - 3 将来の人口推計	コーホート法は正しい選択であると思うが、世帯数を多く見積もりすぎである。人口の変化は統計数字上の予測ですが、世帯予測は社会的予想も必要であり、世帯数は激減するだろうと思われる。 計画期間内に現市街地の12%空き家になり、それが昭和年代の開発地に集中すると想定される。	今回は世帯数も「過去20年における状況が今後も同様に続いたとしたら」という仮定のもとで行っています。過去のデータの推移には、山武市における世帯の特徴、結婚年齢の上昇等について含まれていると見なすことができことから、社会的要因も含まれていると捉えています。 将来の人口減少と高齢化に対応した市街地形成を長期的な計画で推進し、持続する都市づくりを実現することを将来像としています。

	意見	対応
<b>4 全体構想</b>  <b>4 - 1 土地利用に 関する基本 方針</b>	<p>成東駅周辺で今一番活気があるのは国道だと思う。そこに行かなければ買えないものがあれば自然と人は集まるのではないか。</p> <p>歩いて暮らせる街には商店街が必要ではないか。</p>	<p>資料2のP.52 成東地域交流拠点は、公共施設や駅及び国道126号沿道を含んで設定しています。</p> <p>資料2のP.54 歩いて暮らせる街を目指す各地域交流拠点には商業機能の立地誘導を位置づけます。</p>
	<p>歩いて暮らせる街についての実態データの整理</p> <p>具体的にどのようなイメージか。徒歩や自転車で充足できる街を目指すのか。土地利用や市の施策として何をイメージするのか。</p> <p>また直ぐに拠点の形成ができないとすると、「将来的に、歩いて暮らせる拠点到誘導する」程度では。</p>	<p>高齢社会となり、現在、自家用車を日常生活の移動手段としている人が、今後、運転が困難になり、自らの意志で移動できる手段は、歩くことが中心になってくると考えられます。そのため、身近な場所で日常生活に必要な最低限の買い物ができるように街を構成していくことが必要であると考えており、交流拠点では歩くことを中心とした拠点形成の誘導を目指しています。また、各拠点の連携については、公共交通を円滑にするための道路整備もセットで考えています。</p>
	<p>P.24 b沿道商業地ほか 沿道商業地の位置づけと抑制、拠点の形成との矛盾、拠点と沿道の関係を明確にする必要あるのでは。</p>	<p>P.52,55 沿道サービス地と修正しました。</p>
	<p>P.24「抑制」「特定用途制限」には賛成だがその覚悟があるのか。</p>	<p>市民の理解を得ながら進めていきます。</p>
	<p>目標と方法を分けて整理、方法も直ぐに実現可能なものから将来のものまで含めて整理してみてもは。</p>	<p>方法論については、「実現化方策」の中で整理して示します。</p>
	<p>p.25 産業地ほか「自然エネルギー関連産業の立地」個人的には賛成だが、本市の立地条件との関係は（山武杉間伐材？）間伐材が使えるなら「独立」「自立」の観点から木質ペレットなどによるエネルギーの自立をうたい文句にしても良いのでは。</p>	<p>P.53 「自然エネルギー」に限定せず、「自然を活かした先端技術産業」等として、山武杉の間伐材等の活用も含めて考えます。</p>
	<p>p.25食糧の自給も田園との関連で特徴付けられるのでは？</p>	<p>P.53 田園集落地は、首都圏の食糧基地としての役割を担うこととします。</p>
	<p>土地利用方針図、今後煮詰めていくと思いますが、リアルすぎませんか。</p>	<p>P.55 市域が広大になるので、土地利用境界はデフォルトされていると思いますが、再度検討します。</p>

	意見	対応
4 - 3 公園・緑地に関する基本方針について	水とみどりのネットワークをもう少し掘り下げて書く必要があるのでは。 成東城址公園やさんぶの森公園、その他歴史公園、海辺の公園、山の公園との連携がない。	P.65 交流ネットワークを形成する道路を基本に市内を流れる3つの河川で公園等を水と緑のネットワークのイメージを修正しました。
4 - 5 景観に関する基本方針	無電柱化を進めることをマスタープランで書いていった方が良いのでは。	P.72 駅周辺など地区の実情を踏まえて推進するとしてします。
	是非景観行政団体になっていただき、地域特性を活かしたまちづくりをしていただきたい。 活性化について話すきっかけにしていただきたい。	景観行政団体に向けて、景観基本計画の作成に取り組む予定であり、計画策定後、景観条例の制定、景観行政団体への移行、景観計画の策定を目指しています。
その他	市内に何か面白いものがないと人は寄ってこない。魅力作りをしていく必要がある 市内の他のまちづくりプロジェクトと連携していくことが必要。 市内で情報が得られる、ものが買えるシステム作りが必要	交流拠点を活性化するためには魅力づくりが必要だと思います。具体的な取り組みについては、「実現化方策」の中で、市民との協働に関する内容について示します。 また、活性化に向けたアイデアについては、この都市計画マスタープランに方向性を記載し、個別の計画に活かされるようにします。